



TYO 5290

株式会社ベルテクスコーポレーション

2023年3月期 2Q決算説明資料

2022年11月14日

1

2023年3月期 2Q 決算概要

P.02

2

第2次中期経営計画の進捗

P.14

参考資料

P.28

1 2023年3月期 2Q 決算概要

2. 第2次中期経営計画の進捗

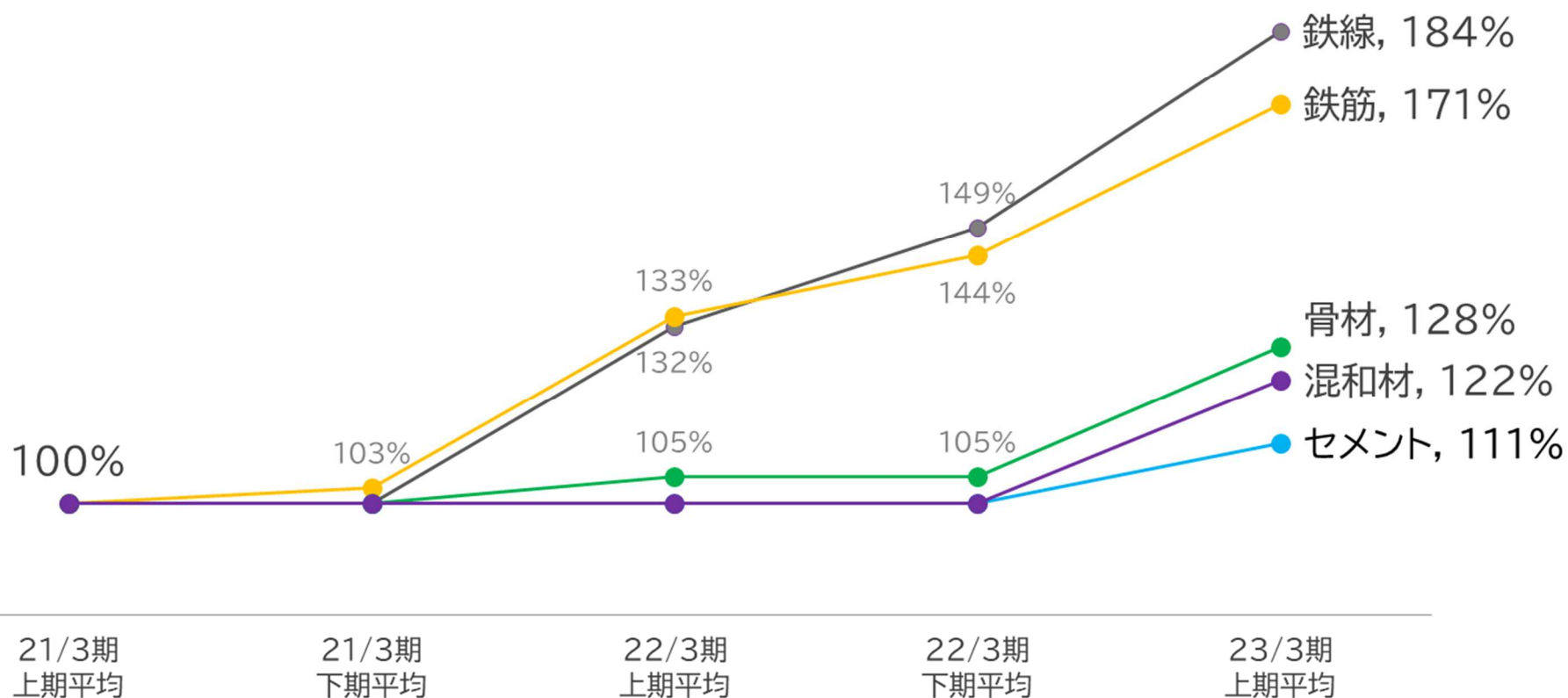
参考資料

- パイル事業と防災事業が順調に推移したため、売上高は概ね予想通りとなりました。
- 一方、コンクリート事業において、前年上期の大型付加価値物件の出荷集中や原材料価格上昇の影響により、各段階利益は前年同期及び計画を下回りました。

(単位:百万円)	22/3期 2Q	23/3期 2Q		前年同期比		計画対比	
	実績	計画	実績	(額)	(率)	(額)	(率)
売上高	16,318	16,400	16,906	588	3.6%	506	3.1%
営業利益	2,513	2,050	1,867	△646	△25.7%	△183	△8.9%
営業利益率	15.4%	12.5%	11.0%	—	-4.4pt	—	-1.5pt
経常利益	2,644	2,150	1,986	△658	△24.9%	△164	△7.6%
経常利益率	16.2%	13.1%	11.7%	—	-4.5pt	—	-1.4pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,768	1,450	1,294	△474	△26.8%	△156	△10.8%
当期純利益率	10.8%	8.8%	7.7%	—	-3.1pt	—	-1.1pt

- 原材料価格は、主要な原材料であるセメント、鉄筋、骨材を含む全品目において上昇しています。

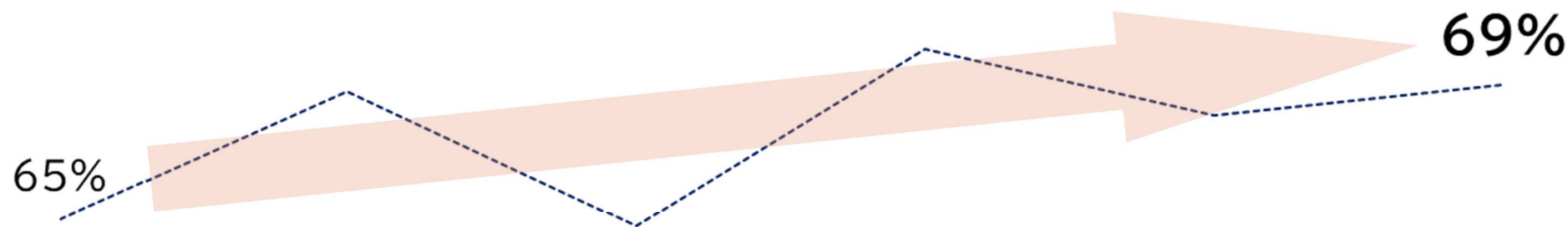
主要な原材料の価格上昇率



*バルテクス株式会社の集計値

1-3. 高付加価値製品比率の推移

- 高付加価値製品比率は、前年比で 4ポイント上昇しています。



22/3期
1Q

23/3期
2Q

※バルテクス株式会社の集計値



雨水貯留槽



エスホール



SJ-BOX



特殊製品(軌道スラブ)

■ セグメント別売上高

(単位:百万円)	22/3期 2Q	23/3期 2Q	対前年増減額	対前年増減率	通期計画	進捗率
コンクリート	12,370	11,776	△594	△4.8%	28,910	40.7%
パイル	1,218	2,133	915	75.0%	2,910	73.3%
防災	1,730	1,990	260	15.0%	4,780	41.6%
その他	999	1,007	8	0.8%	2,400	42.0%
連結合計	16,318	16,906	588	3.6%	39,000	43.3%

■ セグメント別利益

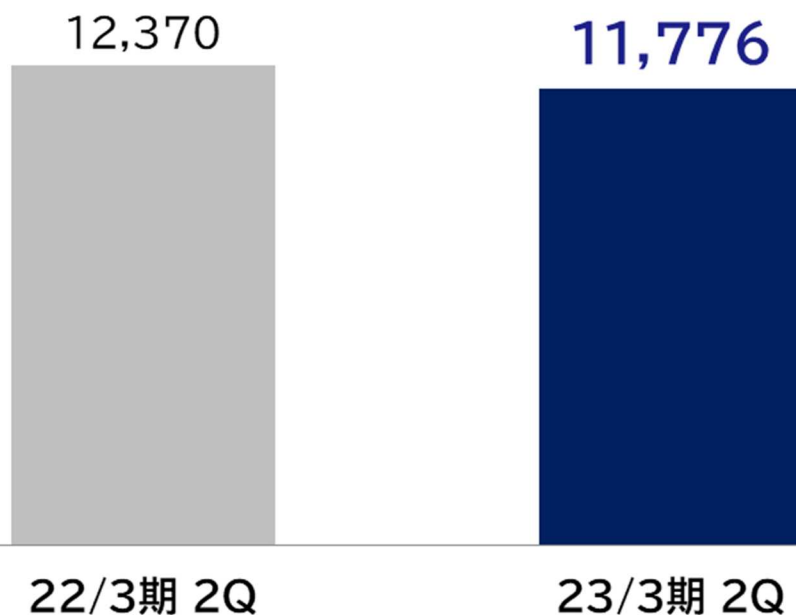
(単位:百万円)	22/3期 2Q	23/3期 2Q	対前年増減額	対前年増減率	通期計画	進捗率
コンクリート	2,491	1,768	△723	△29.0%	5,550	31.9%
パイル	60	202	142	237.0%	130	155.4%
防災	375	464	89	23.6%	1,240	37.4%
その他	195	113	△82	△41.7%	480	23.5%
(調整額)	△608	△682	△74	△12.2%	△1,200	56.8%
連結合計	2,513	1,867	△646	△25.7%	6,200	30.1%

※1 売上高は外部顧客への売上高の数値を記載しております。
 ※2 四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

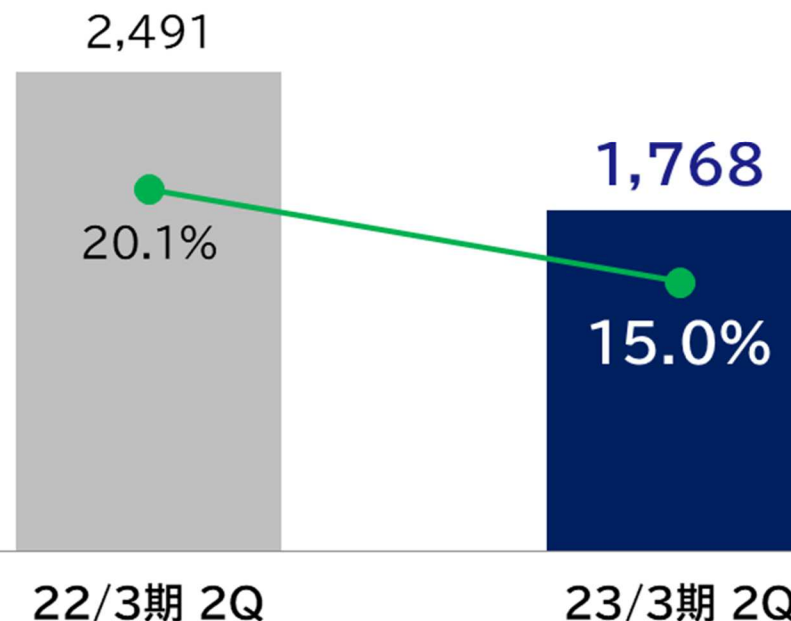
コンクリート事業

- 戦略的な高付加価値製品へのシフトに伴う製品ミックスの改善、汎用品・仕入商品を中心とした取扱い及び販売単価の見直しを進めましたが、前年上期の大型付加価値物件の出荷集中や原材料価格の上昇の影響を受け、前年同期比減収・減益となりました。

売上高 (百万円)



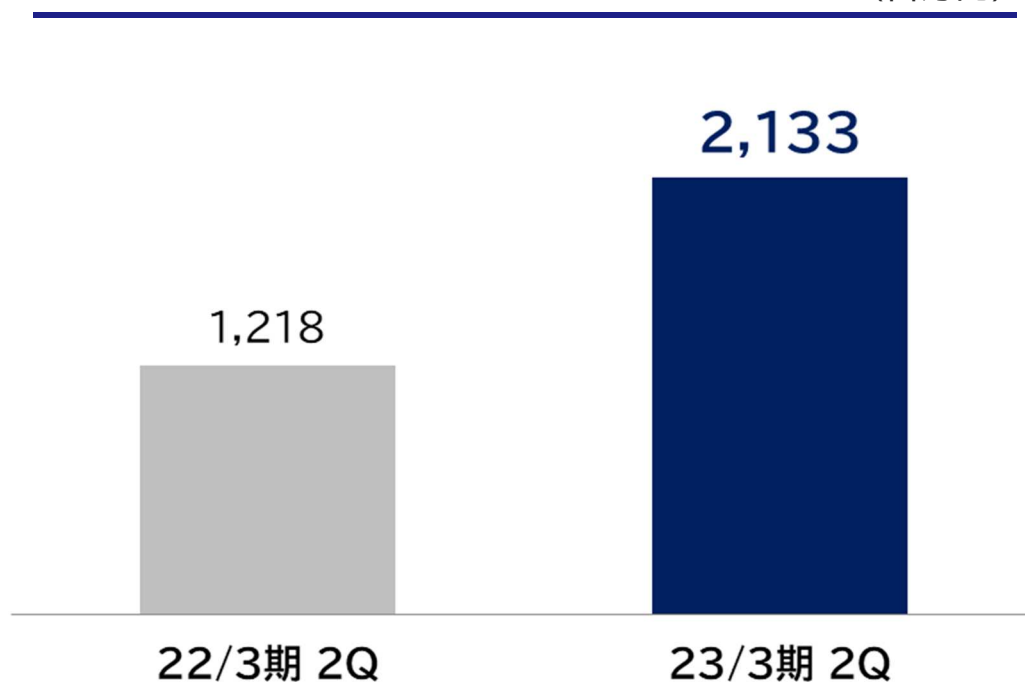
セグメント利益・利益率 (百万円)



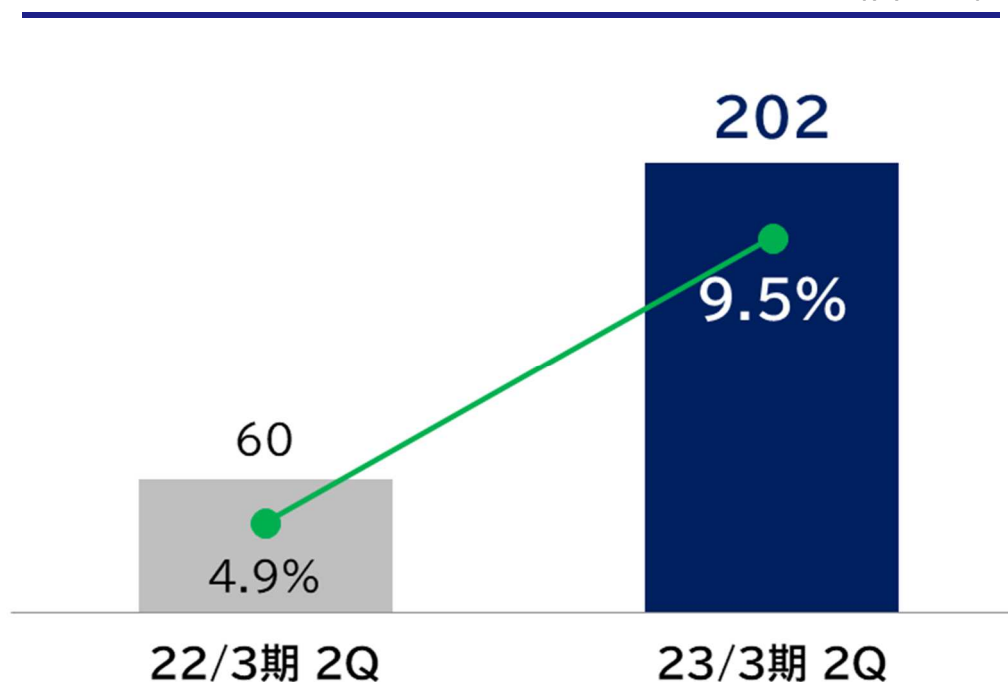
パイル事業

- 民間企業を中心とした設備投資意欲の回復による需要が増加する中、販売地域と案件の絞り込みによる効率化と強みに特化した受注活動及び販売単価の見直しや生産コストの削減など様々な施策を進めたことにより、前年同期比増収・増益となりました。

売上高 (百万円)



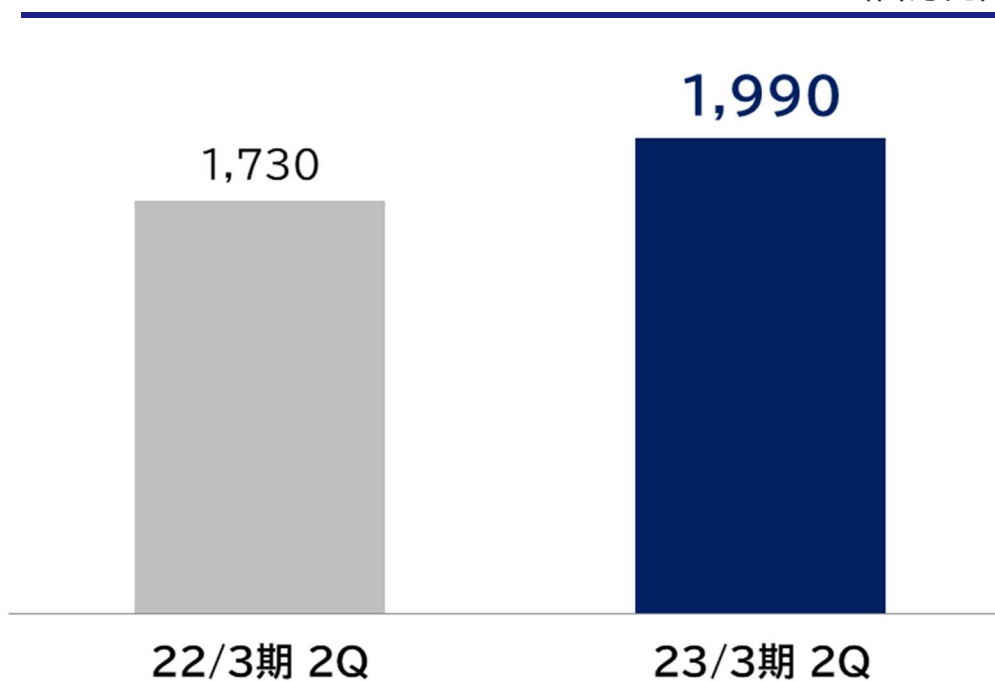
セグメント利益・利益率 (百万円)



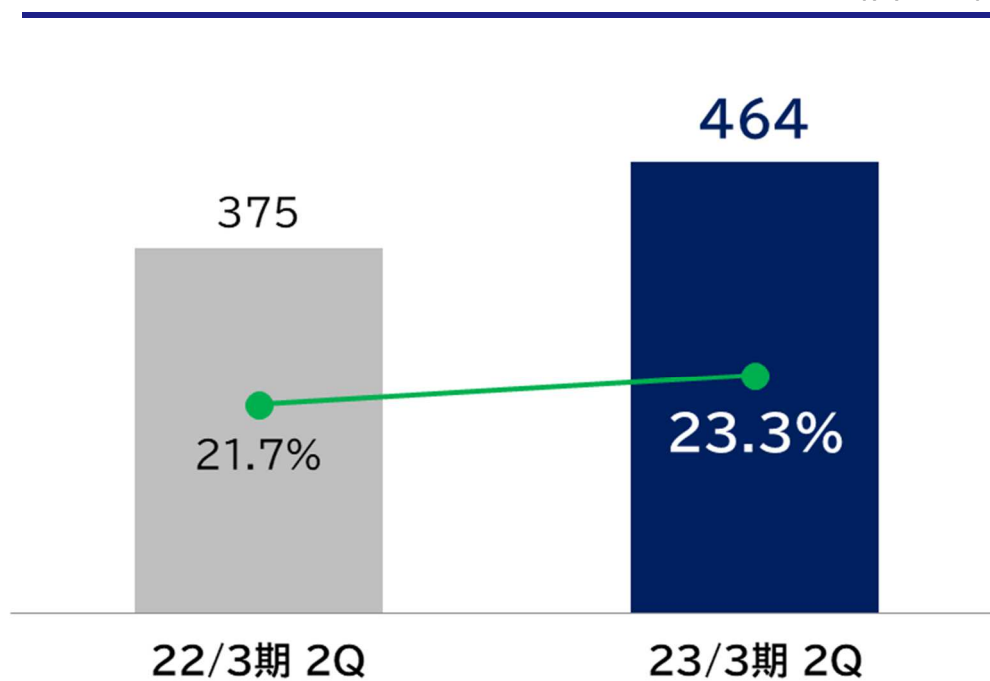
防災事業

- 防災・減災、国土強靱化対策の推進に伴う堅調な成長と中エネルギー帯市場への活動強化、落石防護柵や民間向け崩壊土砂防護柵の出荷が順調に推移したことにより、前年同期比増収・増益となりました。

売上高 (百万円)



セグメント利益・利益率 (百万円)



1-6. 2023年3月期 2Q 連結貸借対照表

- 引き続き安定した財務基盤を維持しております。

(単位:百万円)	2022年3月期2Q	2023年3月期2Q	前期比
	実績	実績	
現預金	11,336	13,446	2,110
売上債権	10,665	9,525	△1,140
棚卸資産	5,375	5,797	422
その他流動資産	289	382	93
有形固定資産	12,346	12,394	48
無形固定資産	319	359	40
投資その他の資産	3,665	3,501	△164
資産合計	43,995	45,404	1,409
仕入債務	5,287	5,902	615
有利子負債	5,014	3,991	△1,023
その他負債	6,968	6,364	△604
負債合計	17,270	16,257	△1,013
株主資本	25,223	27,566	2,343
その他包括利益累計額	1,351	1,330	△21
新株予約権	150	249	99
純資産合計	26,725	29,146	2,421
純資産比率	60.8%	64.2%	—
負債・純資産合計	43,995	45,404	1,409

ネットキャッシュ(百万円)	6,322	9,455
D/Eレシオ(倍)	0.19	0.14

※1 ネットキャッシュ=現預金-有利子負債

※2 D/Eレシオ=有利子負債/純資産

- 工場の製造建屋や製品製造に必要な型枠、機械、金型類を中心に、設備投資を行いました。

(単位:百万円)	2022年3月期2Q	2023年3月期2Q	前期比
	実績	実績	
現金及び現金同等物の期首残高	10,893	12,130	1,237
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,173	2,827	654
(うち減価償却費)	389	404	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△863	△63	800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,636	△1,474	162
現金及び現金同等物の増減額	△326	1,288	1,614
現金及び現金同等物の期末残高	10,567	13,419	2,852

■ 主な投資実績 (単位:百万円)

有形固定資産の取得* ¹	876
無形固定資産の取得* ²	2

*1 ベルテクス(株)における工場試験室・事務所改築・機械・型枠、九州ベルテクスにおける製造建屋建設、ホクコンマテリアル(株)及び(株)ウイセラにおける機械 等

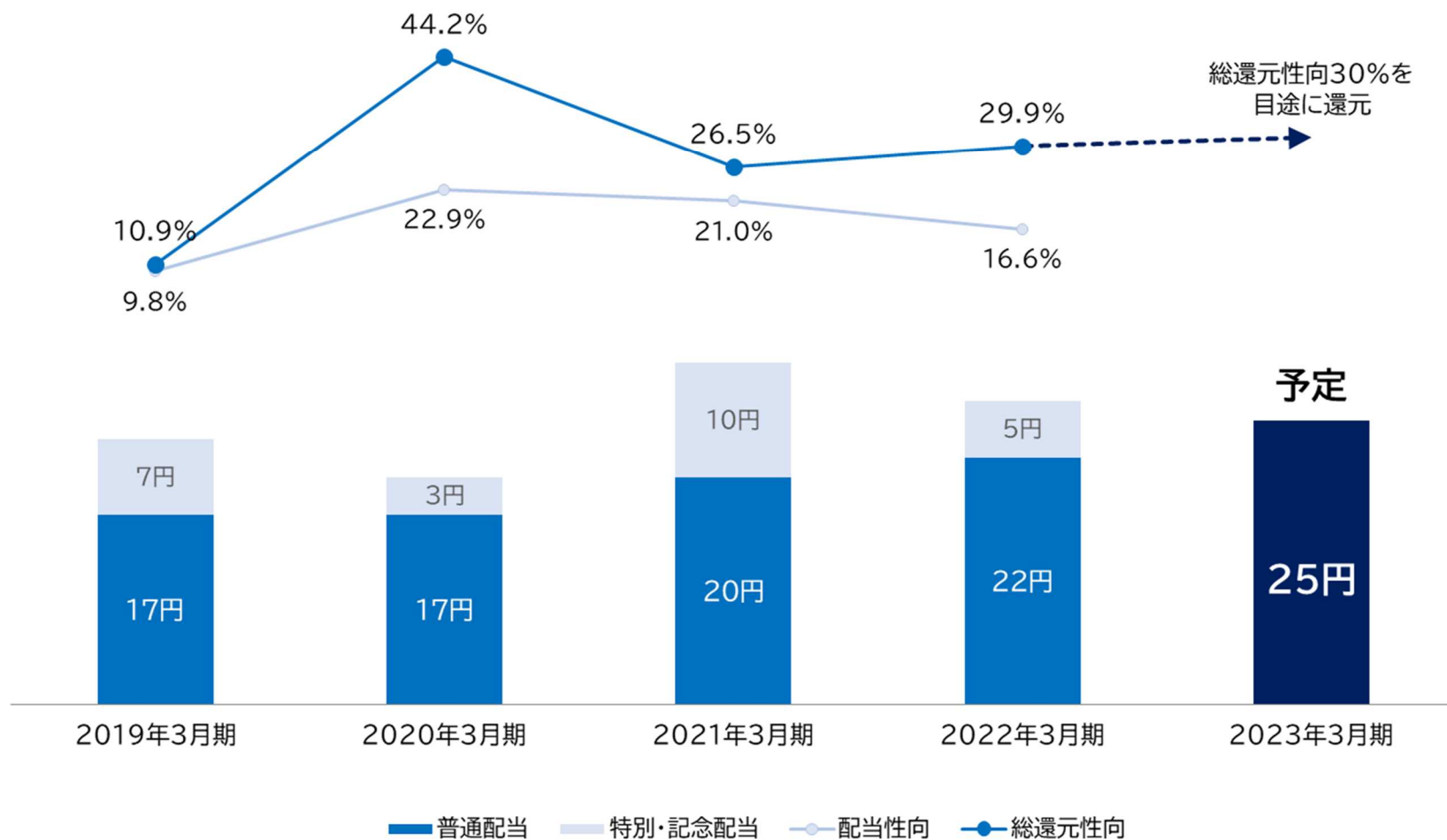
*2 ベルテクス(株)における自社利用ソフトウェア開発

1-8. 2023年3月期 通期 業績見通し

- 今後の受注予測より、通期の計画は変更しておりません。
- 原材料価格の上昇など厳しい環境にありますが、販売価格アップや高付加価値製品へのシフトを引き続き進めてまいります。

(単位:百万円)	通期				2Q				
	22/3期	23/3期	対前年 増減額	対前年 増減率	22/3期	23/3期		対前年 増減額	対前年 増減率
	実績	計画			実績	計画	実績		
売上高	37,514	39,000	1,486	4.0%	16,318	16,400	16,906	588	3.6%
営業利益	6,143	6,200	57	0.9%	2,513	2,050	1,867	△646	△25.7%
営業利益率	16.4%	15.9%	—	—	15.4%	12.5%	11.0%	—	—
経常利益	6,434	6,500	66	1.0%	2,644	2,150	1,986	△658	△24.9%
経常利益率	17.2%	16.7%	—	—	16.2%	13.1%	11.7%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,242	4,350	108	2.5%	1,768	1,450	1,294	△474	△26.8%
当期純利益率	11.3%	11.2%	—	—	10.8%	8.8%	7.7%	—	—

- 安定的な普通配当に加え、適宜、特別配当・記念配当を検討するほか、自社株式の取得により、総還元性向30%を目処として、株主還元を実施する方針としています。
- 2023年3月期は、上期中に7.0億円の自社株式取得を実施済みであり、期末配当は、1株当たり、25円を予定しています。



※ 2022年6月末日を基準日として1:3の株式分割を実施、上記金額は分割後配当額にて表示
 ※ 配当性向 = 1株当たり配当金 ÷ 1株当たり純利益
 ※ 総還元性向 = (配当金総額 + 期中の自己株式取得総額) ÷ 当期純利益

1. 2023年3月期 2Q 決算概要

2 第2次中期経営計画の進捗

参考資料

第2次中期経営計画(2022/3→2024/3)

(基本方針)

① 主力事業の深堀りによるオーガニック成長の推進

主力事業のオーガニック成長により営業キャッシュフローの創出力を高めることで、将来キャッシュフローの最大化を目指します。

② 成長事業の育成と新たな収益機会の獲得

更なる成長に向けて、成長事業の育成と新たな収益機会(新エリア・新カテゴリー展開、新製品、新事業)の獲得に向けた取り組みを強化します。

③ 持続的成長を可能とするための経営基盤整備

前中計から継続して、グループガバナンスの強化、リスク管理体制の構築など経営基盤整備を進めると同時に、ESGの取組みを進め、持続的な企業価値向上を目指します。

<VertexGroup-BHAG>

「安心・安全」を提供する企業
ブランド力No.1へ

2028.10.1
設立10周年

<ブランドメッセージ>
安心のカタチを造る。

2021.4

2024.3

第2次中期経営計画

2022/3→2024/3

- ・主力事業のオーガニック成長の推進
- ・成長事業の育成と新たな収益機会の獲得
- ・経営基盤整備

持続的成長を確実にするため
事業、経営基盤の両面の強化に
取り組む期間と位置付ける

VERTEX
安心のカタチを造る。

バルテクス
コーポレーション
設立

2018.10.1 2019.4

第1次中期経営計画

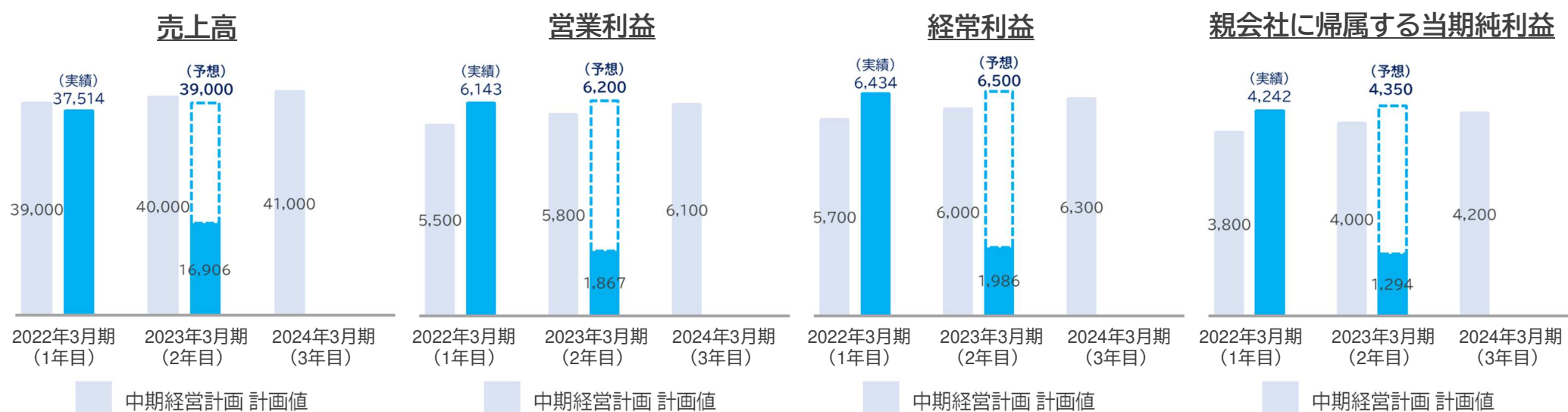
2020/3→2022/3

- ・シナジーによる利益率改善
- ・経営基盤整備

2-2. 連結業績目標

- 本中期経営経計画最終年度(2024年3月期)に、営業利益61億円、ROE10.0%以上の維持を目標としています。

(単位:百万円)	2022年3月期 (中計1年目)		2023年3月期 (中計2年目)		2024年3月期 (中計3年目)
	計画	実績	計画	予想	計画
売上高	39,000	37,514	40,000	39,000	41,000
営業利益	5,500	6,143	5,800	6,200	6,100
営業利益率	14.1%	16.4%	14.5%	15.9%	14.9%
経常利益	5,700	6,434	6,000	6,500	6,300
経常利益率	14.6%	17.2%	15.0%	16.7%	15.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,800	4,242	4,000	4,350	4,200
当期純利益率	9.7%	11.5%	10.0%	11.2%	10.2%
ROE		15.4%			10.0%以上



① 主力事業の深掘りによるオーガニック成長の推進

● 事例紹介（浸水対策）

【埼玉】 東岩槻地区浸水対策事業

- ・ 発注者：さいたま市
- ・ 製品名：プレキャスト遊水池
- ・ 延長：17,900m³（内空 44m×66m 内高7m）
- ・ 概要：東岩槻周辺地域の浸水被害の軽減を図るため、豪雨時に東岩槻公園南側へ整備している雨水幹線からの雨水を一時的に遊水池に貯留します。



現場全景（TV放送より）



製品据付状況

① 主力事業の深掘りによるオーガニック成長の推進

● 事例紹介（土石流対策）

【福島】 令和2年度 東北自動車道 福島管理事務所管内舗装補修工事

- ・ 発注者：東日本高速道路株式会社
- ・ 製品名：ループフェンス Dタイプ
- ・ 延長：474m（H-3.0m・・・L-207m H-2.0m・・・L-267m）
- ・ 概要：国見サービスエリア背面に位置する沢や川から土石流が流下するおそれがあるため、対策として土石流対応の防護柵を設置しました。



支柱設置状況

① 主力事業の深掘りによるオーガニック成長の推進

● 設備投資

九州エリアの防災製品の製造拠点及びBCP対策の一環として、九州バルテクス株式会社長崎工場に製造用建屋を建設しました。

- ・ 竣工日 2022年11月1日
- ・ 面積 6835.3㎡ (建物面積1312.8㎡ それ以外5522.5㎡)
- ・ 主要設備 ホイスト式橋型クレーン1基、屋内天井クレーン2基



① 主力事業の深掘りによるオーガニック成長の推進

● 製品開発

【防災】 ダブルフェンスの開発実験

支柱前後に構造が異なる2種のフェンスを備えた、これまでにないタイプの防護柵です。

ネット面を2面(ダブル)配置することで、落石衝突時に生じる荷重伝達がスムーズに行われ、落石捕捉性能が向上しました。



落石防護柵 性能確認実験前
(重錘 1.58t を高さ32.5m から自由落下)



性能確認実験後
(重錘捕捉)

② 成長事業の育成と新たな収益機会の獲得

● プロフレックス株式会社の完全子会社化

中期経営計画における基本方針「成長事業の育成と新たな収益機会の獲得」に基づく取り組みとして、2022年10月4日にプロフレックス株式会社を完全子会社化しました。当社グループの顧客基盤等の資産を有効活用することにより、持続的な企業価値向上を図ってまいります。



③ 持続的成長を可能とするための経営基盤整備

- 下記施策を中心に、経営基盤の整備・強化に取り組んでいます。

発表時の施策内容

現在の進捗状況

施策1

- ◆ 人材開発プログラム・採用プログラムの再整備

- ・ ベルテクスアカデミーの設立・運用開始 【実施済】
- ・ 人材開発グループの設置 <ベルテクス> 【実施済】
- ・ 教育プログラムの再整備(2022.4～) 【実施済】

施策2

- ◆ 情報システム・ICTインフラの整備、DXの推進

- ・ 新基幹システム <ベルテクス> 【準備中】(2023.5～)
- ・ 人事・就業システム <ベルテクス> 【稼働済】(2022.2～)
- ・ 新基幹システム <ベルテクス建設> 【稼働済】(2021.4～)

施策3

- ◆ グループガバナンス体制・リスク管理体制の構築

- ・ コンプライアンス研修(グループ全社員対象)
(2021年度【実施済】、2022年度【実施中】)
- ・ 内部監査の強化
(1名増員、約150拠点/3年 計画通り実施中)

施策4

- ◆ 事業ポートフォリオマネジメント機能の整備・強化

- ・ 小規模事業の戦略・施策について精査実施
- ・ 事業ポートフォリオマネジメント機能は整備を継続

施策5

- ◆ サステナビリティ推進体制の整備

- ・ サステナビリティ協議会 【実施済】

③ 持続的成長を可能とするための経営基盤整備

● 教育プログラムの再整備

更なる人材強化と次世代の人材育成を目指してプログラムを整備・拡充しました。

	新入社員	若手社員	中堅社員	管理職	上位管理職
階層別	新入社員研修	若手社員研修	中堅社員研修	管理職研修	上位管理者研修
目的別	アカデミック研修 <自主参加型>				
全社員	全社員研修（ビジネススキル／コンプライアンス／ハラスメント など）				
部門別	部門別研修（営業・生産・技術・管理部門など）				

○ 階層別研修

対象：新入社員、若手社員、中堅社員、新任管理職、新任上位管理者
 目的：階層別の役割要件と求められる能力・資質の開発、意識の醸成

○ 全社員研修

対象：グループ全役職員（約1,100人）
 目的：コンプライアンス、ハラスメントなどの知識・意識の定着

○ アカデミック研修

対象：グループ全社からの公募方式
 目的：ゼネラリストに求められる能力の開発、意識の醸成

○ 部門別研修

対象：部門毎に対象者を選定
 目的：専門的な知識習得と能力の開発

③ 持続的成長を可能とするための経営基盤整備

● アカデミック研修の実施

経営マインドを持った社員の育成を目指した新たな社内研修「ベルテクスアカデミック研修」が開催されました。

参加者を2グループに分け、7月7・8日および11・12日に基礎編を開催、対象は希望する社員全員とし、参加は義務ではなかったにもかかわらず約130名が全国各地から集まりました。



③ 持続的成長を可能とするための経営基盤整備

● サステナビリティ推進体制の整備

2021年10月に「サステナビリティ協議会」を発足させ、サステナビリティに関する方針やマテリアリティの特定などの検討を行ってまいりました。

今後、サステナビリティへの取り組みをより一層強化し、中長期的な企業価値向上に繋げていくことを目的として、「サステナビリティ委員会」の設置、並びに2023年4月を目途にサステナビリティの開示を行う予定です。



● 展示会出展

ベルテクスグループ

下水道展'22東京(8/17~20)

- ・浸水対策製品
「雨水貯留槽 M.V.Pシステム」「ボルテックスバルブ」
「スパイラルホール(落差マンホール)」
- ・耐震対策製品 「SJ-BOX」「災害用トイレシステム」
- ・落石対策製品 「ループフェンス」「MJネット」
- ・長寿命化・環境負荷低減対策 「LLクリート」
- ・マンホール維持修繕工法 「エポ工法」



株式会社ウイセラ

テクノフロンティア2022

(7/20~22)

- ・セラミックス成形品・加工品
- ・電波吸収セラミックス
- ・受託加工



アイビーソリューション株式会社

Interop Tokyo2022 (6/15~17)

- ・ネットワーク認証システム
「iBAQS-FX」
- ・ネットワーク接続制御システム
「GoNET」
- ・消防向け勤怠管理システム
「FIMA」



● 当社提供番組の制作

ステークホルダーの皆様当社事業をより理解して頂くために、特番を制作しました。



工場で製作した部材を現場で組み立てるプレキャスト化により工期を短縮。ゲリラ豪雨にも対応する特殊バルブを搭載し機能をアップ、進化した「貯留施設」。



1mを超える巨大な落石にも対応可能とされる、画期的な「落石防護フェンス」。耐久テストと幼稚園の前に設置される現場を取材。業界の常識を覆す技術とは？

BSテレ東 7ch

災害を前に、
一歩も引かない技術が
この国にはある。



ナビゲーター／中村雅俊 進行／奥村奈津美

その日のために

潜入！ 防災技術最前線

今夜
10時

日本各地を襲う記録的な自然災害。30年以内に70%の確率で起きるとされる巨大地震。いつかくる“その日”に備えて、防災・減災のための技術開発が進む最前線へ。ベルテックスの「貯留施設」やウェザーニューズの「お天気アプリ」など企業や自治体の取り組みに迫ります。



ユーザーからの情報と全国に設置されたアメダスによる膨大なデータをプロが分析。雨雲の動き、雨の降り方を詳細に予測する人気の「お天気アプリ」、その裏側に迫る！



古くは明治時代から、大雨による被害にたびたび見舞われてきた岡山県総社市。下原地区では東日本大震災を機に「自主防災組織」を結成、地道な活動の成果は？



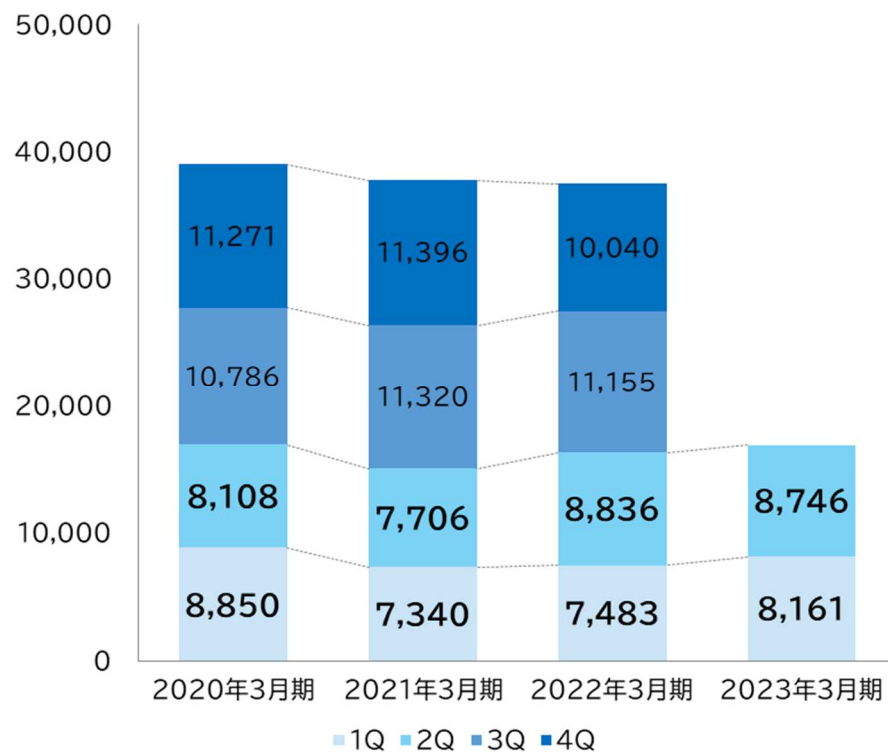
放送日：2022年11月7日(月) 22:00～22:55

1. 2023年3月期 2Q 決算概要
2. 第2次中期経営計画の進捗

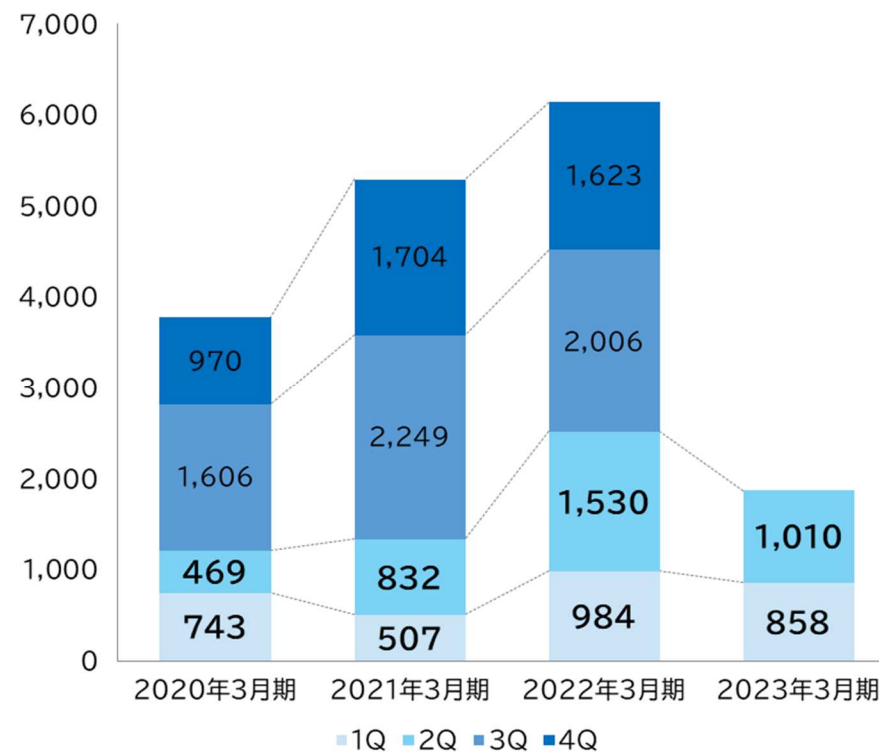
参考資料

(単位:百万円)	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	8,850	8,108	10,786	11,271	7,340	7,706	11,320	11,396	7,483	8,836	11,155	10,040	8,161	8,746
売上総利益	2,212	2,023	3,068	2,844	1,928	2,282	3,610	3,428	2,463	3,009	3,426	3,009	2,386	2,558
売上総利益率	25.0%	24.9%	28.4%	25.2%	26.3%	29.6%	31.9%	30.1%	32.9%	34.1%	30.7%	30.0%	29.2%	29.2%
販管費	1,469	1,553	1,461	1,874	1,421	1,451	1,361	1,725	1,479	1,480	1,420	1,386	1,528	1,548
営業利益	743	469	1,606	970	507	832	2,249	1,704	984	1,530	2,006	1,623	858	1,010
営業利益率	8.4%	5.8%	14.9%	8.6%	6.9%	10.8%	19.9%	14.9%	13.2%	17.3%	18.0%	16.2%	10.5%	11.5%

売上高



営業利益



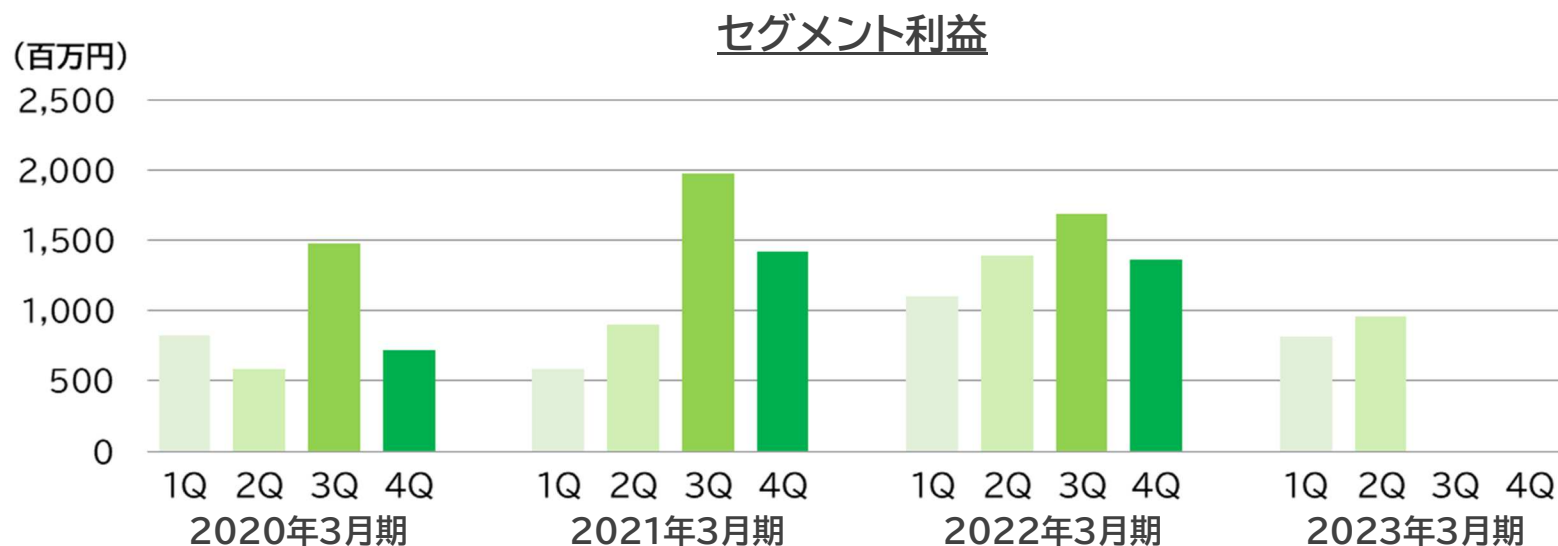
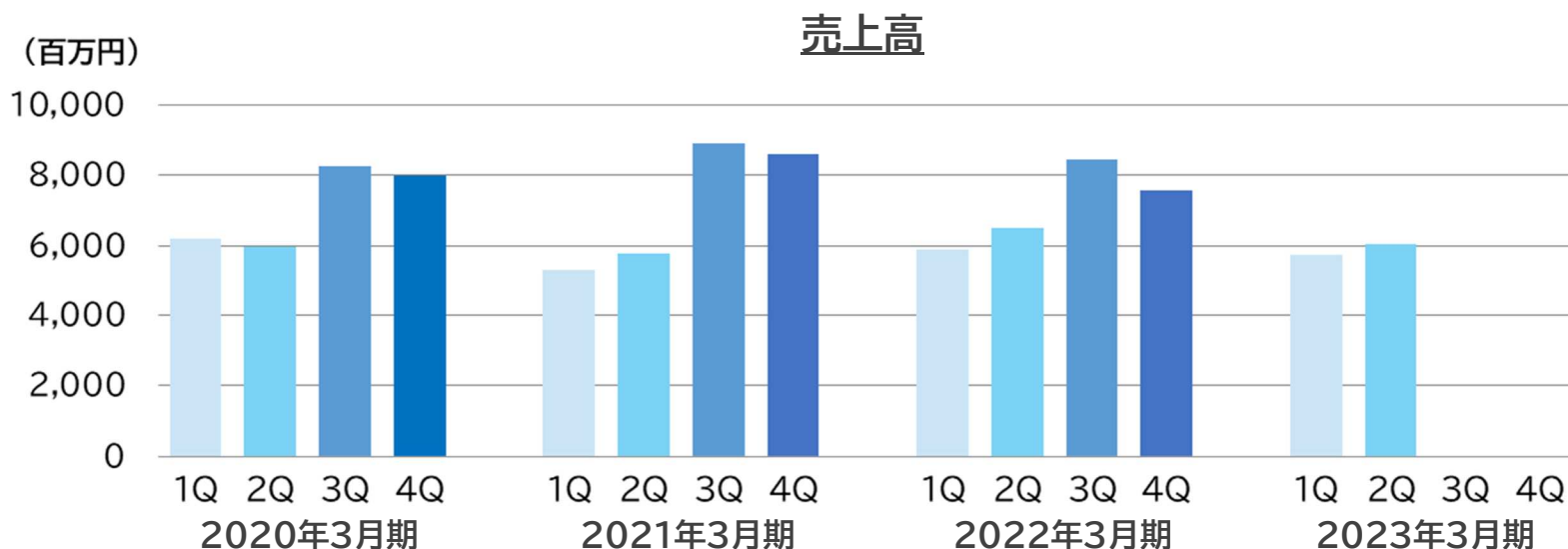
四半期別、セグメント別業績 ①コンクリート事業



■ コンクリート

(単位:百万円)

	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	6,209	5,969	8,238	7,998	5,282	5,790	8,899	8,586	5,883	6,490	8,454	7,587	5,731	6,046
セグメント利益	825	582	1,479	717	585	901	1,979	1,420	1,097	1,394	1,689	1,369	814	954



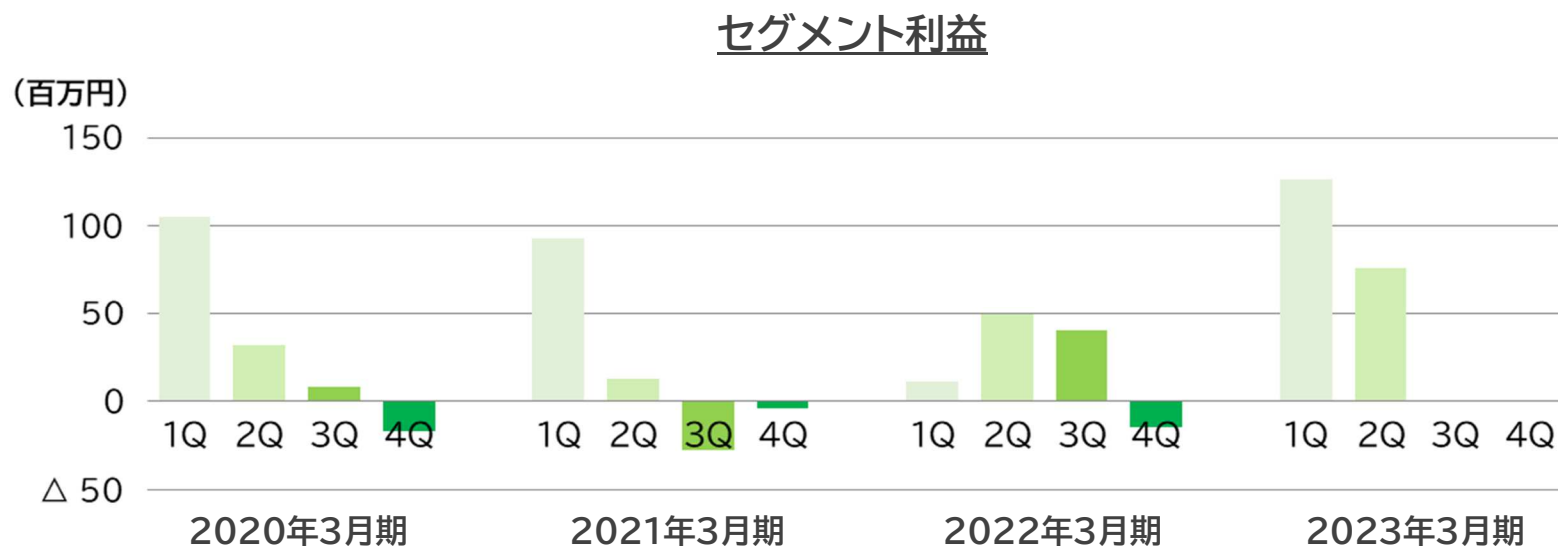
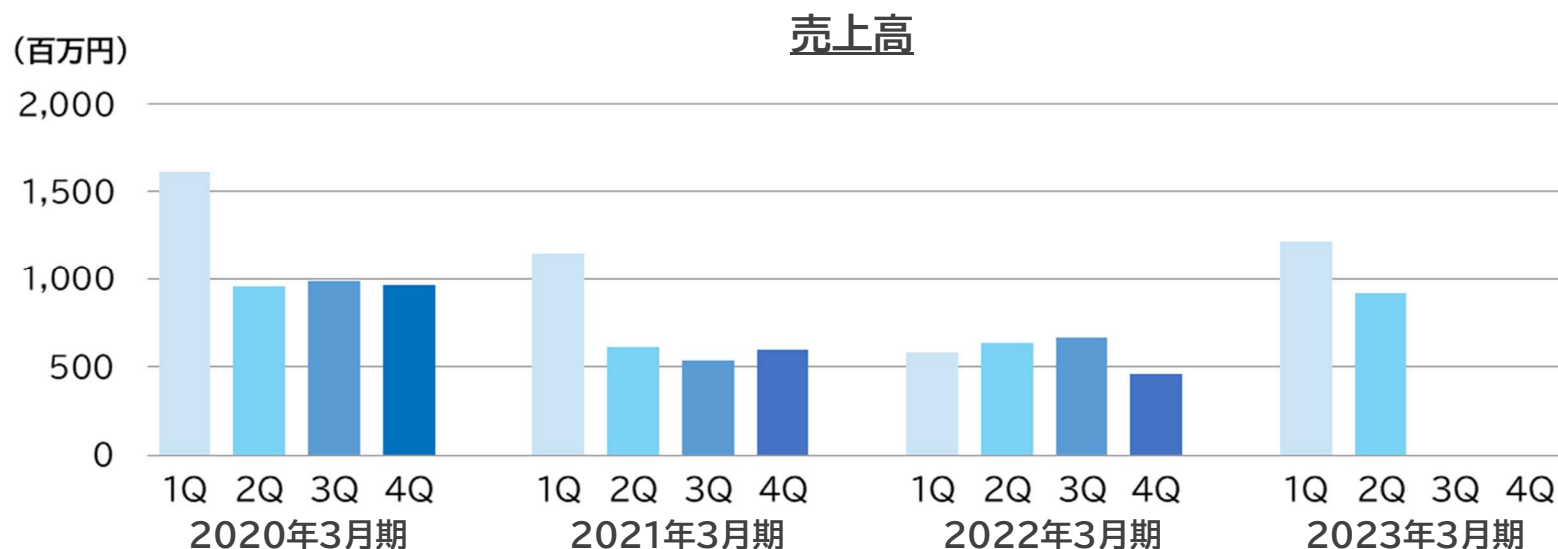
四半期別、セグメント別業績 ②パイル事業



■ パイル

(単位:百万円)

	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	1,612	954	987	967	1,149	609	538	597	582	637	664	460	1,217	916
セグメント利益	105	32	8	△17	93	13	△28	△4	11	49	40	△15	126	76



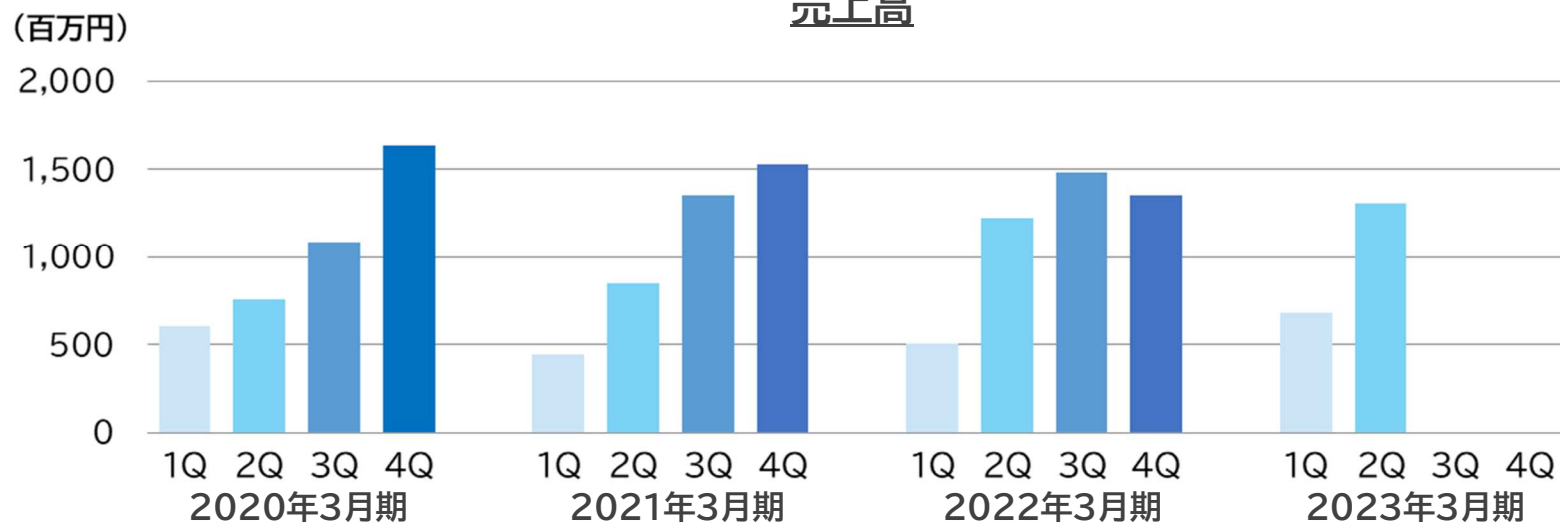
四半期別、セグメント別業績 ③防災事業

■ 防災

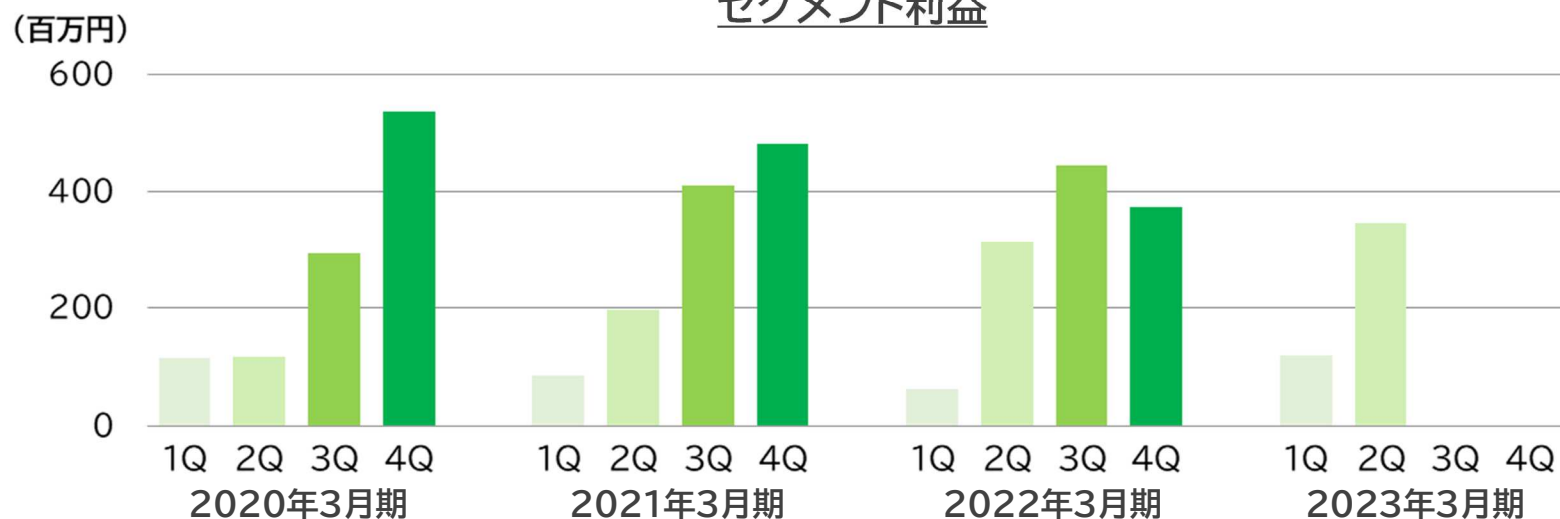
(単位:百万円)

	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	605	754	1,086	1,638	442	847	1,354	1,527	506	1,224	1,483	1,352	682	1,308
セグメント利益	114	118	294	535	85	197	411	481	61	315	445	373	119	345

売上高

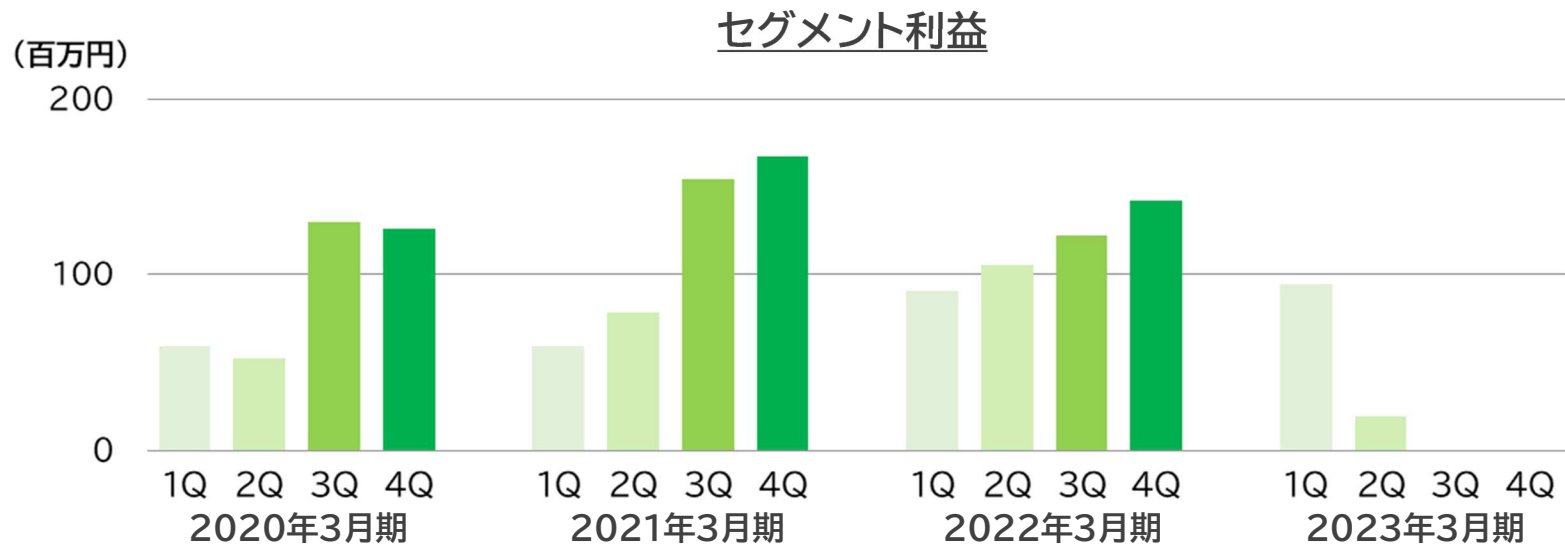
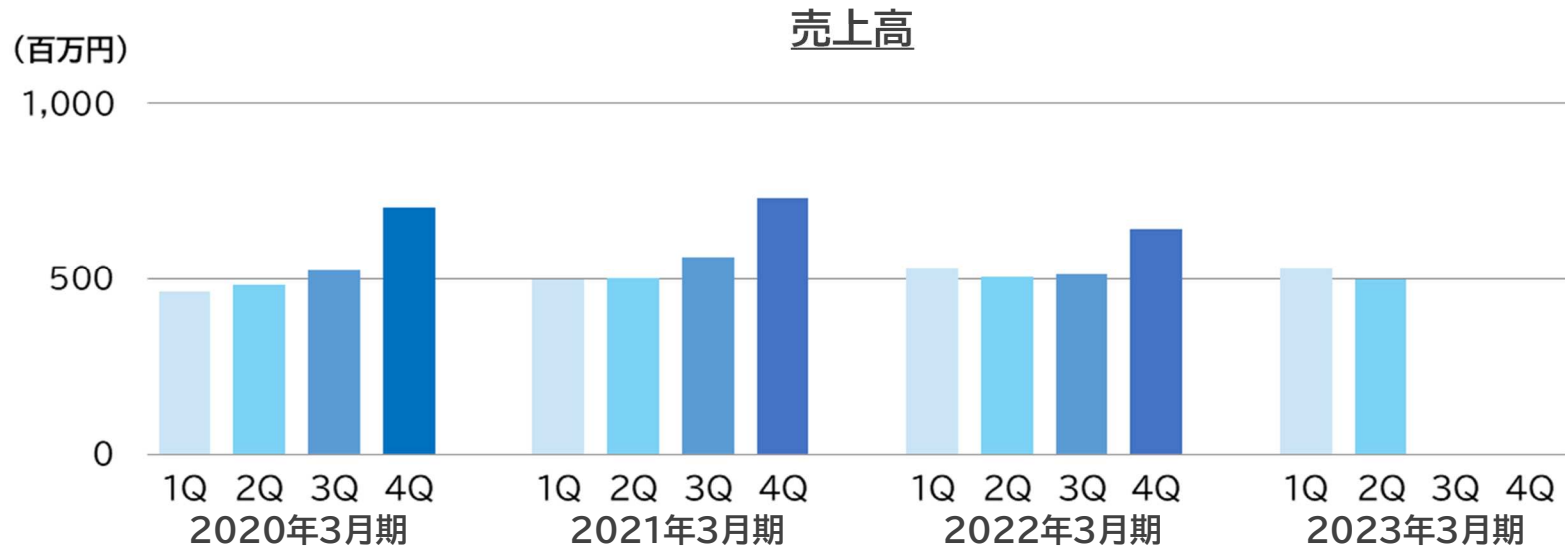


セグメント利益



四半期別、セグメント別業績 ④その他

■ その他 (単位:百万円)	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	462	480	523	703	498	502	561	729	533	505	511	641	530	497
セグメント利益	59	52	130	126	59	78	154	167	90	105	122	142	94	19



<お問い合わせ先>

株式会社ベルテクスコーポレーション

経営企画本部 経営企画G

Tel : 03-3556-2801

本資料中の業績予想、事業計画等に関する記述は、本決算発表日時点における合理的な将来予測に基づいて作成されたものであり、今後様々な要因で変更される場合がございます